



株式会社 心瑛 代表取締役 奥井 美香 氏

人と人のつながりを大切に、 不動産を通して魅力ある地域づくりに貢献

3カ月で宅地建物取引士試験に合格

ウエディングプランナーとして仕事をしてきた代表取締役の奥井 美香さんが、宅地建物取引士の資格を取得するきっかけとなったのは、「不動産部門を強化したいので、代表に就任してほしい」というご主人の要望に応えるためでした。

当時、2人のお子さんの子育て中でしたが、「ウエディングプランナーは土日が忙しい仕事のため、子どもたちと過ごす時間が少なくなることが悩みでした。子育てしながらもずっと仕事を続けたいと思っていたので、思い切って資格取得にチャレンジして、夫の仕事を手伝うことにしました」と奥井社長。

3人目のお子さんを出産した後、ネット配信の授業で猛勉強して3カ月で宅地建物取引士の試験に合格するという快挙を成し遂げ、2015年に設立された株式会社心瑛の代表に就任しました。

周囲の協力で家事、育児と社長業を両立

奥井社長の夫である奥井 敦史氏が経営する奥井グループは、建築建設業や解体工事業など幅広い事業を展開、従業員数は80名を超えるグループ会社で、心瑛では大規模宅地開発をメインで行っています。

「経験のない中、大きな取引ができるのは、ベテランスタッフのサポートがあつてのこと。社内だけでなく、お取引先や同業の方々など、まわりのみなさんに支えられて、少しずつ経験を重ねながらやってこられた」と振り返ります。

現在、3歳から12歳まで5人のお子さんのお母さんとして、家事と育児と社長業をこなす奥井社長。「夫と私の両親に子育てに協力してもらっただけでなく、学校や保育園の行事や連絡事項、スポ少の送迎などをサポートしてくれるママ友がいたり、本当にたくさんの方々に応援していただ



メリハリをつけて仕事と子育てを両立している。

けるおかげと感謝しています。嬉しいのは上の子がママを助けたいと下の子の面倒を見てくれること。そして、ママは仕事でこんなに大きな造成地を造っていると自慢できること」と言う笑顔からは、疲れた表情などまったく感じられません。

住みたくなる街づくりで地域をもっと元気に

社名の心瑛はお子さんの名前にちなんで奥井社長が命名したもので、「いつも感謝の気持ちを忘れない、心優しい人になってほしい」という思いが込められています。忙しくても、週末はお子さんのサッカーの試合の応援に行くなど、「仕事と私生活のメリハリをつけることを心がけている」と語ります。

中古住宅のリフォームや新築の際、自らコーディネートなどの提案を行うこともあるということで、「主婦の目線で、使い勝手の良い設備や住みやすく子育てのしやすい工夫など、今後もっと提案していきたい。今の仕事は自身の経験を活かしながら、お客様に喜んでいただける夢のある仕事だと思う」ということばからも充実ぶりが伝わってきます。

今後、目指したいのは不動産業を通じて地域の活性化を図ること。「市内では高齢化が進んで活気がなくなった団地などが増えています。その地域ならではの魅力を見つけて、それを活かしながら、より暮らしやすくなる仕掛けを考えて、若い人も住みたくなるような街にしていきたい」という目標を掲げています。



仕事を通じて少しでも地域に貢献したいと語る奥井社長。社内には交流のある著名人の写真が飾られている。



社屋の外壁には「人は変わる」などの名言が掲げられている。
〒523-0804
滋賀県近江八幡市島町1634-2F
<http://www.okuigrp.com>

新たな観光資源で近江八幡の魅力をアピール

奥井社長は、厳しい経営状況にあった近江八幡市内の日帰り温泉を譲り受けてリニューアル工事を行い、2020年に『長命寺温泉 天葉の湯』としてオープンしたほか、昨年にはすぐ近くに古民家を改修した宿泊施設『プライベートハウス嬢綺耶(いきや)』をオープンしました。

また、コロナ禍で利用客が減少して手放すことになった屋形船を譲り受けて、貸切観光船の事業もスタートしました。今後、宿泊施設や貸切屋形船が新たな近江八幡の観光資源となることが期待されています。

奥井グループでは少年サッカーチームを支援するため、大会スポンサーを務めるなど、地元への貢献や活性化を目指す取り組みにも力を入れてきました。「人と人のつながりを大切にすることで、共に育ち、共に繁栄することを使命とする」というグループの理念を体現するため、経営者としてさまざまなことにチャレンジしていきたいと奥井社長は考えています。



2020年にリニューアルオープンした『長命寺温泉 天葉の湯』



古民家を改修した宿泊施設『プライベートハウス嬢綺耶(いきや)』



船上でお弁当を楽しむこともできる貸切屋形船